



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年10月30日

上場会社名 サンワテクノ株式会社
コード番号 8137 URL <https://www.sunwa.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 晶広

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 的場 孝成

TEL 03-5202-4011

半期報告書提出予定日 2024年11月12日

配当支払開始予定日

2024年12月2日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	69,426	21.9	1,650	52.1	1,681	54.6	1,271	58.7
2024年3月期中間期	88,867	5.3	3,442	4.3	3,700	3.5	3,075	21.7

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 2,230百万円 (38.3%) 2024年3月期中間期 3,612百万円 (2.8%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	83.97	
2024年3月期中間期	201.75	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	95,616	49,595	51.9
2024年3月期	98,707	47,966	48.6

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 49,595百万円 2024年3月期 47,966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		45.00		50.00	95.00
2025年3月期		50.00			
2025年3月期(予想)				70.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2025年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 設立75周年記念配当 10円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,070	6.7	3,080	50.4	3,220	51.4	2,410	51.9	159.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	16,044,000 株	2024年3月期	16,044,000 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	864,019 株	2024年3月期	932,459 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	15,145,738 株	2024年3月期中間期	15,246,437 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算発表補足資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

また、当社は2024年11月7日(木)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算資料につきましては、開催後当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	10
(1) 仕入、受注及び販売の状況	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、個人消費や企業の設備投資に持ち直しが見られましたが、金融市場の変動や金利政策の不確実性から、経済活動は先行きが不透明な状況が続いております。世界経済については、金融引き締めによる景気減速から回復に向かっていますが、欧米における高い金利水準の継続や地政学的リスク等に対する懸念が残ります。中国では不動産開発投資の低迷が続く、企業の設備投資も低迷しております。アメリカでは、個人消費・設備投資の増加が見られました。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、市況低迷による設備投資の減少や手配調整が続いておりましたが、一部の業界から需要に回復が見られました。また、人手不足の対策や省人化を目的とする設備投資は、今後も拡大が続くと期待されます。

このような環境の中で当中間連結会計期間の業績は、売上高694億26百万円(前年同期比21.9%減)、営業利益16億50百万円(前年同期比52.1%減)、経常利益16億81百万円(前年同期比54.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益12億71百万円(前年同期比58.7%減)となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

[電機部門]

電機部門では、自動車関連(EV)業界向けの制御機器(制御盤)の販売が増加いたしました。FA業界向けの制御機器(制御盤)、太陽光関連業界向けの電機品(サーボモータ、スカラロボット)の販売が減少いたしました。この結果、当部門の売上高は149億3百万円(前年同期比20.8%減)となりました。

[電子部門]

電子部門では、自動車関連業界向けの電子部品(光学ユニット)の販売が増加いたしました。FA業界向けの電子機器(産業用PC)及び電子部品(ケーブル、コネクタ等)の販売が減少いたしました。この結果、当部門の売上高は483億87百万円(前年同期比23.3%減)となりました。

[機械部門]

機械部門では、半導体製造装置業界向けの設備機器(除振台)の販売が減少いたしました。この結果、当部門の売上高は61億35百万円(前年同期比11.8%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 日本

自動車関連(EV)業界向けの制御機器(制御盤)及び自動車関連業界向けの電子部品(光学ユニット)の販売が増加いたしました。FA業界向けの制御機器(制御盤)、電子機器(産業用PC)及び電子部品(ケーブル、コネクタ等)、半導体製造装置業界向けの設備機器(除振台)の販売が減少いたしました。この結果、売上高500億79百万円(前年同期比17.3%減)、営業利益10億29百万円(前年同期比50.7%減)となりました。

② アジア

アジア地域では、太陽光関連業界向けの電機品(サーボモータ、スカラロボット)、FA業界向けの電子部品(コネクタ、端子台等)及び電子機器(ティーチングペンダント)、半導体製造装置業界向けの電子機器(産業用PC)の販売が減少いたしました。この結果、売上高232億51百万円(前年同期比31.9%減)、営業利益5億9百万円(前年同期比61.0%減)となりました。

③ 欧米

欧米では、自動車関連業界向け及び生活用品業界向けの産業用ロボットの販売が増加いたしました。FA業界向けの電子部品(ファンモータ、コネクタ等)の販売が減少いたしました。この結果、売上高33億49百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益54百万円(前年同期比59.5%減)となりました。

④ その他

売上高は4億42百万円(前年同期比62.1%増)、営業利益11百万円(前年同期は営業損失19百万円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は、956億16百万円となり前連結会計年度末に比べ30億90百万円減少しました。受取手形、売掛金及び契約資産の減少が主な要因であります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は、460億21百万円となり前連結会計年度末に比べ47億18百万円減少しました。電子記録債務の減少が主な要因であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産合計は、495億95百万円となり前連結会計年度末に比べ16億28百万円増加しました。為替換算調整勘定の増加が主な要因であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ43億31百万円増加し、229億29百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は55億59百万円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益(18億48百万円)、売上債権の減少(51億15百万円)、棚卸資産の減少(30億10百万円)等による増加がある一方で、仕入債務の減少(41億15百万円)、法人税等の支払(8億89百万円)等により一部減少したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は95百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入(1億85百万円)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は21億61百万円となりました。これは主に、短期借入金の純減額(13億51百万円)、配当金の支払(7億55百万円)等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における連結業績につきまして、2024年7月29日に公表いたしました2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との間に差異が生じました。詳細につきましては、本日(2024年10月30日)公表いたしました「2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

通期業績予想につきましては、2024年5月10日発表の内容から修正を行っておりません。

また、2025年3月期の配当予想につきましては、株主還元方針の変更を踏まえ、本日付で修正を行っております。詳細につきましては、本日公表いたしました「株主還元方針の変更(DOE指標導入)及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,081	23,431
受取手形、売掛金及び契約資産	38,487	35,803
電子記録債権	8,930	7,931
商品	17,417	15,305
仕掛品	4	11
その他	2,570	2,418
貸倒引当金	△141	△130
流動資産合計	86,350	84,771
固定資産		
有形固定資産	2,256	2,232
無形固定資産	166	153
投資その他の資産	9,933	8,459
固定資産合計	12,356	10,845
資産合計	98,707	95,616
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,939	18,478
電子記録債務	15,650	11,102
短期借入金	9,007	7,683
未払法人税等	898	599
引当金	—	27
その他	2,628	2,952
流動負債合計	45,124	40,845
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
長期未払金	51	51
役員退職慰労引当金	137	144
退職給付に係る負債	770	799
その他	1,655	1,180
固定負債合計	5,615	5,176
負債合計	50,740	46,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,727	3,727
資本剰余金	3,587	3,618
利益剰余金	34,986	35,502
自己株式	△1,680	△1,556
株主資本合計	40,620	41,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,544	3,533
為替換算調整勘定	2,801	4,771
その他の包括利益累計額合計	7,346	8,304
純資産合計	47,966	49,595
負債純資産合計	98,707	95,616

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	88,867	69,426
売上原価	77,688	59,990
売上総利益	11,179	9,436
販売費及び一般管理費	7,736	7,786
営業利益	3,442	1,650
営業外収益		
受取利息	4	19
受取配当金	89	74
仕入割引	19	12
受取家賃	74	75
為替差益	106	—
その他	89	83
営業外収益合計	385	266
営業外費用		
支払利息	94	96
売上債権売却損	15	15
為替差損	—	113
その他	17	10
営業外費用合計	127	236
経常利益	3,700	1,681
特別利益		
固定資産売却益	8	—
投資有価証券売却益	557	167
特別利益合計	566	167
税金等調整前中間純利益	4,266	1,848
法人税等	1,190	576
中間純利益	3,075	1,271
親会社株主に帰属する中間純利益	3,075	1,271

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	3,075	1,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△444	△1,011
為替換算調整勘定	981	1,969
その他の包括利益合計	536	958
中間包括利益	3,612	2,230
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,612	2,230
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	4,266	1,848
減価償却費	173	188
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△16
受取利息及び受取配当金	△94	△94
支払利息	94	96
為替差損益 (△は益)	33	△42
投資有価証券売却損益 (△は益)	△557	△167
売上債権の増減額 (△は増加)	2,880	5,115
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,154	3,010
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,442	△4,115
その他	367	643
小計	568	6,467
利息及び配当金の受取額	73	77
利息の支払額	△96	△96
法人税等の支払額	△1,413	△889
営業活動によるキャッシュ・フロー	△868	5,559
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△64	△35
有形固定資産の売却による収入	150	—
投資有価証券の取得による支出	△8	△6
投資有価証券の売却による収入	707	185
その他	△35	△47
投資活動によるキャッシュ・フロー	749	95
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△325	△1,351
長期借入れによる収入	3,000	—
リース債務の返済による支出	△63	△54
自己株式の取得による支出	△1,000	△0
配当金の支払額	△1,083	△755
財務活動によるキャッシュ・フロー	527	△2,161
現金及び現金同等物に係る換算差額	486	837
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	894	4,331
現金及び現金同等物の期首残高	13,661	18,597
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,556	22,929

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前中間純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	54,013	31,685	2,908	88,607	260	88,867	—	88,867
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,564	2,450	432	9,447	12	9,460	△9,460	—
計	60,577	34,136	3,341	98,054	273	98,328	△9,460	88,867
セグメント利益又は損 失 (△)	2,087	1,305	133	3,527	△19	3,507	△64	3,442

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△64百万円には、セグメント間取引消去6百万円及び棚卸資産の調整額△71百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	45,106	20,940	2,957	69,004	422	69,426	—	69,426
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,972	2,311	391	7,675	20	7,695	△7,695	—
計	50,079	23,251	3,349	76,679	442	77,122	△7,695	69,426
セグメント利益又は損 失 (△)	1,029	509	54	1,593	11	1,605	45	1,650

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額45百万円には、セグメント間取引消去12百万円及び棚卸資産の調整額32百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 仕入、受注及び販売の状況

①商品仕入実績

当中間連結会計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	38,941	76.9
アジア (百万円)	16,670	62.0
欧米 (百万円)	1,968	115.3
報告セグメント計 (百万円)	57,581	72.7
その他 (百万円)	303	148.7
合計 (百万円)	57,884	72.9

②受注状況

当中間連結会計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	41,142	96.1	32,212	69.8
アジア	19,678	67.1	12,715	63.6
欧米	2,778	84.1	1,788	81.4
報告セグメント計	63,599	84.3	46,717	68.4
その他	427	92.6	247	80.7
合計	64,027	84.4	46,964	68.4

③販売実績

当中間連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	45,106	83.5
アジア (百万円)	20,940	66.1
欧米 (百万円)	2,957	101.7
報告セグメント計 (百万円)	69,004	77.9
その他 (百万円)	422	162.3
合計 (百万円)	69,426	78.1

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。